

福島県内大学図書館連絡協議会誌

第 25 号

◇第 40 回 福島県内大学図書館連絡協議会総会議事録	
医療創生大学図書館	1
◇第 30 回 福島県内大学図書館連絡協議会実務者研修会報告	
担当：いわき地区 医療創生大学図書館	
東日本国際大学昌平図書館	
福島県立工業高等専門学校図書館	4
◇相互利用参加館（公立図書館）紹介	
「本宮市立しらさわ夢図書館の紹介」	
しらさわ夢図書館館長 柳沼志津子	22
福島県内大学図書館連絡協議会会則	24

令和 6 年 3 月

第40回福島県内大学図書館連絡協議会総会 議事録

日時：令和5年7月26日（水）11:00～12:00

形式：オンライン会議

出席者：12館21名

欠席：1館（会津大学短期大学部附属図書館）

開会

あいさつ 医療創生大学図書館事務室担当 関場 早希子

議長選出

議事に先立ち、参加者の自己紹介がなされた後、議長の選出を行った。

令和5年度幹事館の医療創生大学図書館の事務室担当 関場早希子が議長に選出された。

1 報告事項

(1) 令和4年度事業報告

常任幹事館の福島大学附属図書館より資料に基づき報告があった。

2 協議事項

(1) 令和4年度会計報告（案）

常任幹事館の福島大学附属図書館より資料に基づき報告があり、会計監事の福島県立医科大学附属学術情報センターより監査報告がなされ、原案のとおり承認された。

(2) 令和5年度会費の徴収について

常任幹事館の福島大学附属図書館より、第39回総会において「会則に基づき毎年徴収することを基本としつつ、繰越残高や事業計画等を踏まえて各年度で検討し、徴収を見送る場合は総会において協議する」ことが承認されていることから、令和4年度からの繰越残高及び令和5年度における事業計画等の支出見込みを考慮し、令和5年度においても会費の徴収を見送るとの提案があり、承認された。

(3) 令和5年度事業計画（案）

令和5年度事業計画（案）について常任幹事館の福島大学附属図書館より資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

(4) 令和5年度予算(案)

令和5年度予算(案)について常任幹事館の福島大学附属図書館より資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

(5) 当年度会計監事の選出について

常任幹事館の福島大学附属図書館より近隣の福島県立医科大学附属学術情報センターに依頼したいとの提案があり、承認された。

(6) 横断検索画面公開に伴う確認事項について

第39回総会で承認された福島県立図書館の横断検索への参加について、同図書館より資料に基づき以下の通り4件の提案があった。

①画面公開時期

横断検索画面の公開時期について提案があり承認された。

公開時期の他、横断検索実行時の不具合について福島県立図書館より補足があった為、福島大学附属図書館館長より具体的な不具合の内容について質問があった。福島県立図書館からの回答は以下の通り。

a) 検索実行時、ヒットした件数によっては各館で所蔵している書籍が検索結果に反映されないことがある。

b) 特定の図書館システムを使用している館の検索結果について、検索結果より各館OPACの詳細画面へ画面遷移する際、正常に画面が遷移しない可能性がある。(補足: 個別のOPACで検索し詳細画面を表示する場合と情報量に差が出る可能性がある)。

以上の現象は現在も継続して発生しており、引き続きベンダーと調整を行っているが、システムの不具合対応に時間を要することからご理解頂きたいとのこと。

②画面上に掲載する利用上の注意事項

横断検索画面上に外部の利用者に対して各館で対応が異なる旨の注記を掲載するにあたり、注記文案の提案があり承認された。

③横断検索に係る利用者からの問合せ対応等

横断検索公開により一般利用者の目に触れる機会が増えるに伴い、発生し得る事柄とシステムの不具合発生時の対応の計2点について資料に基づき説明があり承認された。

④その他留意事項

現行の県立図書館ウェブサイトの「県内大学図書館横断検索」の廃止について説明があり承認された。

また、補足として福島県立図書館の横断検索稼働開始にあたり、各大学への問合せの集中を防ぐため、現状では大学図書館はデフォルトチェックが付かない設定としている旨の説明があり承認された。

3 承合事項

(1) 学術雑誌の製本取り止めについて

桜の聖母短期大学図書館情報センターより本件の提案があり、資料に基づき、提案理由の説明及び回答への御礼があった。

(2) チャットGPTの図書館での利活用について

福島学院大学図書館情報センターより本件の提案があり、資料に基づき、提案理由の説明及び回答への御礼があった。

(3) 視覚障害者等の読書環境の整備状況について

福島工業高等専門学校図書館より本件の提案があり、資料に基づき、提案理由の説明及び回答への御礼があった。

4 その他

(1) 次年度幹事館について

総会資料の幹事館一覧により、福島県立図書館が担当することを確認し、同館よりあいさつがあった。

(2) 福島県内大学図書館相互利用制度の利用状況調査について

福島大学附属図書館より、平成元年より運用されている当該制度に対し、一定数の利用者はいるものの、全体としては然程多くはないという前提の説明があった上で各館における制度の利用状況及び課題について、加盟館へ後日メールによるアンケートを実施したいとの提案があった。

また、当アンケートの結果により、次年度に当該制度の見直しを行う事も含め検討したい旨の説明があった。

閉会

第30回福島県内大学図書館連絡協議会実務者研修会報告

第30回福島県内大学図書館連絡協議会実務者研修会は、令和6年2月27日（火）に、Zoom を使用してのオンライン開催となった。

本年度幹事館である医療創生大学図書館が司会・進行を務め、当日は加盟館のうち10館21名が研修に参加し、参加できなかった方に対して、期間限定でアーカイブを公開した。また、研修会終了後に、Google による感想フォームを配信・回収し、各館の回答及び感想等を取りまとめた。

オンライン開催は、令和4年度に引き続き今回で3回目となったこともあり、大きな問題はなく円滑に進行し、無事に会を終えることができた。

講師に、演劇に関する英米文学やイギリス文化を研究されている、医療創生大学心理学部教授・同大学図書館長の小池久恵氏をお迎えし、「知識と冒険の舞台～イギリス文化と図書館」というテーマで、歴史や文化の視点から、英米における図書館の重要性や社会への影響等について講演いただいた。また、医療創生大学図書館におけるラーニングコモンズの充実化や英語教育支援の試みについても紹介いただいた。

研修会実施要項、講演資料及び感想等は以下のとおりである。

医療創生大学図書館
東日本国際大学昌平図書館
福島県立工業高等専門学校図書館

第 30 回 福島県内大学図書館連絡協議会 実務者研修会開催要項

日時：2024 年 2 月 27 日（火）13：30-15：00（予定）

会場：Zoom を使用したオンライン開催

研修会のテーマ：

「知識と冒険の舞台～イギリス文化と図書館」

イギリスには多くの特色ある図書館が存在します。世界最大の単一の国立図書館であるブリティッシュ・ライブラリー、オックスフォード大学に所在するボドリアン図書館など、それぞれ特有の魅力と歴史を持っており、文化と知識を保護し共有する役割を果たしています。図書館を舞台にした文学作品や映画作品も数多く存在します。図書館は知識や冒険、謎解きの舞台として、興味深い物語を提供していますし、図書館に関するドキュメンタリー映画もいくつか制作されており、図書館の役割や社会への影響、文化的重要性などに焦点を当てています。

今回の研修会ではイギリス文化・文学の視点から図書館が持つ重要性和多様な活動についてお話しします。また本学における図書館の試み（読書・学習環境整備や英語教育支援など）にも触れたいと思います。

講師：小池 久恵先生

所属：医療創生大学心理学部教授 図書館長

主な研究分野：英米文学（演劇）・イギリス文化

次第：

- 13：00～13：30 受付
- 13：30～13：35 開会式
- 13：35～14：35 講演
- 14：35～15：00 質疑応答・ディスカッション
- 15：00 閉会

2024年2月27日

知識と冒険の舞台～イギリス文化と図書館

医療創生大学 小池久恵

1

引用句に見る「図書館」

- "Libraries were full of ideas, perhaps the most dangerous and powerful of all weapons."
「図書館にはアイデアがいっぱい詰まっており、おそらく最も危険で強力な武器の一つかもしれません」サラ・J・マース (Sarah J. Maas, 1986-)
- "A library outranks any other one thing a community can do to benefit its people. It is a never failing spring in the desert."
「図書館はコミュニティが人々に利益をもたらすことのできる最上のもの。砂漠の中の決して枯れることのない泉」アンドリュー・カーネギー (Andrew Carnegie, 1835 - 1919)
- "A library is the delivery room for the birth of ideas, a place where history comes to life."
「図書館はアイデアが生まれる産室であり、歴史が生き返る場所」ノーマン・カズンズ (Norman Cousins, 1915 - 1990)
- "Without libraries, what do we have? We have no past and no future." - Ray Bradbury
「図書館がなければ私たちは何も持っていません。私たちには過去も未来もありません」レイ・ブラッドベリ (Ray Douglas Bradbury, 1920 - 2012)
- "When in doubt, go to the library."
「疑わしいときは、図書館に行け」J. K. ローリング (J. K. Rowling, 1965-)

2

引用句に見る「図書館」

▶ アメリカの思想家ラルフ・ワルドー・エマーソン(Ralph Waldo Emerson, 1803 - 1882)

- ・ 図書館の膨大な書物の中から適切な書物を選び出す難しさ

「図書館では何百という親しい友に私たちは囲まれているが、彼らは妖術師によって紙や革製の箱の中に閉じ込められている。彼らはそれは長いこと私たちがやってくるのを待ち、私たちにひっして合図を送っているが、彼らは話しかけられなければ話してはならない。しかも妖術師が彼らに歩兵の大群のように一様の衣装を着せているので、正しく書物を手にする機会は、順列や組み合わせで計算されるようなもの」

▶ イギリスの劇作家 R.B.シェリダン(Richard Brinsley Sheridan, 1751 - 1816)

- ・ 女性の読書について

公共図書館のサービスが普及する以前、イギリスでもアメリカでも一般の人々は主に貸本屋(circulating libraries)で書物を借りていた。18世紀には貸本屋の数が増加、その利用者の多くは読書に娯楽を求める女性たち。イギリスの劇作家R.B.シェリダン(1751 - 1816)の戯曲には、読書に夢中になっている若い女性を、紳士が「街にある貸本屋は邪悪な知識を実らせる常緑樹のようなもの」と非難するセリフも見られ、当時の貸本屋の人気をうかがわせている。

3

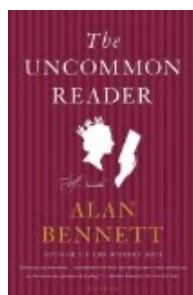
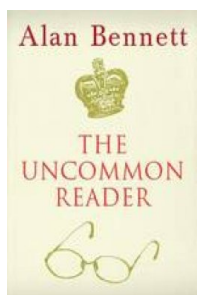
ヴァージニア・ウルフと図書館・読書・*The Common Reader*

▶ ヴァージニア・ウルフ(Virginia Woolf, 1882-1941)

- ・ 図書館を金庫にたとえる。彼女は女性の知的自由が奪われてきた一つの例として、当時図書館の利用が女性に規制されてきたことを挙げた。図書館は宝のおさめられた金庫であるが、鍵をかけられたままじっと眠っている図書館の歓待を女性は受けることはできない。女性の経済的・精神的自立を主張したウルフにとって、図書から得られる知識は何よりも重要な宝物であった。
- ・ *The Common Reader* (1925) ウルフが一般の読者を対象として書いた一連のエッセイ集。文学や文化に関する幅広いトピックについて鋭い観察力と深い洞察を提供、多くの読者に影響を与えた作品。さまざまな作家(シェイクスピア、ジェーン・オースティン、ジョセフ・コンラッド、トマス・ハーディなど)や文学の歴史、文学批評、文学の役割、さらに彼女自身の読書体験に関するものが含まれている。

4

Alan Bennett, *The Uncommon Reader* (2007)



エリザベス女王が本を読むことを通じて人生の新たな発見をする物語

- 女王が犬の散歩中に移動図書館に出会い、好奇心から本を借りるところから始まる。これが彼女の読書習慣の始まりであり、彼女はますます本に没頭していく。しかし、この新しい趣味は、王室のプロトコルや女王に寄せられる期待に反するものであり、周囲の人々を驚かせ戸惑わせることになる。
- 女王は、普段の生活とは異なる世界に没頭することで、自分自身と向き合い、人生の新たな視点を獲得。彼女の読書熱は、王室の責務や期待の間で内的な葛藤を引き起こし、彼女の人生に変化をもたらしていく。
- 「普通でない読者」である女王の視点から、読書の力と文学の魅力について考えさせられる作品。彼女が本を通じて発見するものは、彼女自身の内面の豊かさや人間性を深めるものであり、読者にも読書体験がもたらす喜びや、多くの洞察を与える。

5

書評

- ベネットの考察は、読書の破壊的な楽しみについてのウィットに富んだ瞑想へと展開する楽しい小著を生み出した。(中略) 支配者が読書家になり、君主が君臨するよりも書くことを望むようになるという物語を語ることで、ベネットは魅力的なおとぎ話を書いた。グレゴリー・ベックとオードリー・ヘプバーンの古い映画『ローマの休日』のようにチャームングで、スティーヴン・フリアーズの受賞映画『女王』のように鋭い観察眼を持つ物語であり、著者お得意の洒脱さと、鋭くも人道的な機知が発揮された物語である。- ニューヨーク・タイムズ紙
- コミカルで簡潔な傑作。それだけではなく、人生を変え、視野を広げ、他者の身になって考えさせ、生い立ちや階級や教育の束縛から人を解放する読書の力を宣言している作品。- オブザーバー紙
- *The Uncommon Reader* は、読書・良書の効用をめぐる愉快的なコミカル・ファンタジーだが、この作品の素晴らしさは、それがいかに真実味を帯びているかということ。アラン・ベネットの乾いたウィットと英国的な物腰は、私たちが考える女王像に完璧にフィットしており、家庭の細部にまで目を配る彼の目によって、普段はプライベートで知ることのできない人物の内面が開花していく様を垣間見ることができる。- インディペンデント紙
- *The Uncommon Reader* は政治的、文学的風刺である。しかし同時に、読書の持つ救済的かつ破壊的な力、そして一冊の本がいかにして次の本、また次の本へとつながっていくかという、素敵な教訓でもある。(中略) *Uncommon Reader* は、義務からではなく、純粹に楽しみのために読書をするこの素晴らしさを、説教臭くなく、気取らずに教えてくれる。- USAトゥデイ紙

6

英米の図書館

大英図書館 ブリティッシュ・ライブラリー (British Library)

世界最大の単一の国立図書館。その膨大な蔵書には様々な言語と文化の資料が含まれる。またシェイクスピア初版本やマグナカルタといった貴重な歴史的文書も所蔵。

インナーパフレイ図書館 (Innerpeffer Library)

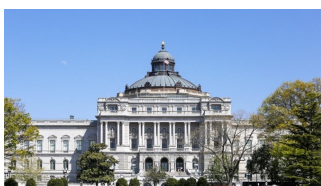
スコットランドで最も古い公共図書館の一つとして知られる。17世紀に創設され、貴族の支援により運営されていた。今でも一般に公開されており、古典文学や歴史的な資料を提供。



7

英米の図書館

- アメリカ議会図書館 (Library of Congress) - 1800年創設。ワシントンD.C.にあるアメリカの国立図書館であり、世界最大の図書館。



- ニューヨーク公共図書館 (New York Public Library) - 美しい建築と膨大な蔵書。また、ミッドタウンのランドマーク的な本館 (Stephen A. Schwarzman Building) は映画やテレビ番組のロケ地としても有名。



8

英米の図書館

- モルガン図書館&美術館 (Morgan Library & Museum) - ニューヨーク市にあるモルガン図書館は、モルガン財閥による美術館と図書館の複合施設。美術コレクションと古典的な蔵書を展示している。



- フォルジャー・シェイクスピア図書館 (Shakespeare Folger Library) - ワシントンD.C.に位置する図書館で、ウィリアム・シェイクスピアに関する資料と文学に特化し、劇場も併設。



9

イギリスの特色ある大学附属図書館

- オックスフォード大学ボドリアン図書館 (Bodleian Library)

イギリスで最も古い図書館の一つ。オックスフォード大学の中心的な図書館。美しい建築（図書館内部の壮麗な天井、彩飾された書庫、装飾的な階段など）と膨大な蔵書を誇り、特に英国文学や人文科学の分野において豊富な資料が揃っている。



10

イギリスの特色ある大学附属図書館

- オックスフォード大学マートンカレッジ図書館 (Merton College Library)

イギリスで最も古い図書館の一つ。14世紀に設立され、長い歴史を持つ貴重なコレクションを保管している。特に中世の写本や初期印刷本のコレクションが豊富であり、学術研究において非常に重要なリソースとなっている。

中世の建築様式であるゴシック様式の建物。その建物自体も美しく歴史的な価値をもつ。訪問者は、図書館内で貴重な資料や歴史的な文献を鑑賞できるだけでなく、建物自体の美しさも楽しむことができる。



11

イギリスの特色ある大学附属図書館

- ブリストル大学図書館 (University of Bristol Library)
ブリストル大学の中央図書館。美しい建築と膨大な蔵書で知られる。



- ケンブリッジ大学図書館 (University of Cambridge Library)
ケンブリッジ大学の主要図書館。特に科学、工学、文学、歴史に関連する資料が豊富。
- エディンバラ大学図書館 (University of Edinburgh Library)
エディンバラ大学の中央図書館。スコットランド最大かつ最古の大学図書館の一つ。スコットランドの歴史、文化、文学に関連する貴重な資料を所蔵。
- グラスゴー大学図書館 (University of Glasgow Library)
特に医学、法学、人文科学の分野に強みがある。

12

アイルランドの特色ある大学附属図書館

- トリニティ・カレッジ図書館 (The Library of Trinity College Dublin)

アイルランド最古の大学であるトリニティ・カレッジ・ダブリンの一部。アイルランドの国宝であり、古典文学の重要な蔵書であるケルズ書 (Book of Kells) を所蔵。

「(2020年9月14日) 本日、トリニティ・カレッジ・ダブリンの旧図書館Old Libraryで、新しいケルズの書宝物庫と展示ケースがお披露目された。アイルランドの最も偉大な文化遺産のひとつである9世紀の写本は、新装された宝物庫の専用ケースに収められ、その素晴らしさを余すところなく披露される。COVID-19からアイルランドが脱却し、文化、遺産、観光分野が活性化することを告げるものだ。」



13

大英博物館図書室から大英図書館へ

- 大英博物館 (1753-) 時代の図書室 (現在: 南正面入り口から入ると、中央のグレートコートに面した右手の棟の位置 ↓)



14

大英博物館図書室から大英図書館へ

ラウンド・リーディング・ルーム - 中庭に丸い図書閲覧室の建設が考案され、1854年に着工、1857年に完成。足元にお湯のパイプが通り、暖かい中で読書・研究ができる設備に変わる。

～図書室の利用者～

- ・ チャールズ・ディケンズ (Charles Dickens, 1812-1870)
『ボズのスケッチ集』(1836)の中で朝10時の開室から閉室時間までこの図書室に籠る紳士の姿を描いている。当時は閑階級のサロンのな場所でもあった。

- ・ カール・マルクス (Karl Marx, 1818-1883)

新しいリーディングルームができる直前に、母国ドイツから追放、ロンドンのハムステッド近郊の仮宿で極貧生活に耐えながら30年余り大英博物館に通い詰め、『経済学批判』(1859)『資本論』(1867-)を執筆する。

- ・ ジョージ・バーナード・ショー (George Bernard Shaw, 1856-1950)

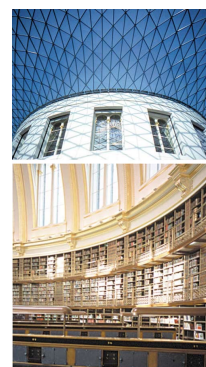
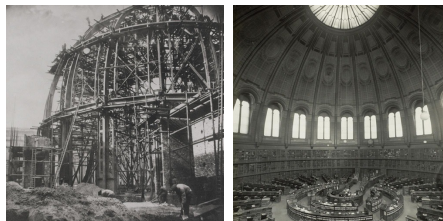
19世紀末アイルランドからやって来たショーもリーディングルームに足繫く通った。

ショーの演劇の登場人物たちは『マイフェアレディ』(『ピグマリオン』1913)の言語学者ヒギンズ教授をはじめ百科全書的な知識を豊富に操りながら、警句やユーモアで観客を楽しませた。その知識は博物館のリーディングルームで得たもの。死後膨大な遺産の三分の一を博物館に寄付している。

- ・ ヴァージニア・ウルフ

大英博物館の円形閲覧室を訪れ、多くの時間をそこで過ごし、作品の執筆や研究に取り組む。

グレートコート - 図書閲覧室(ラウンド・リーディング・ルーム)を中心に中庭の大規模改築が行われ → 3000枚のガラスが天井を覆うグレートコートとして2000年に開館した。



15

大英博物館図書室から大英図書館へ

アントニオ・・パニッツィ
(Antonio Genesio Maria Panizzi, 1797-1897)



大英博物館図書館はイタリアからの政治亡命者であったパニッツィの尽力の結果、19世紀中頃に大きな発展を遂げる。

- ・ 1837-1856 印刷本部門の部長

- ・ 1856-1866 博物館の主任司書(図書部門のトップ)

- ・ 印刷本の蔵書目録の新規作成、再編成作業(それまでの蔵書目録は蔵書名をだらだらと書き連ねたリスト)を監督し、イギリスで出版された本は大英博物館図書館に1部納本することを義務付けた1842制定の著作権法を強く押し進めた。]

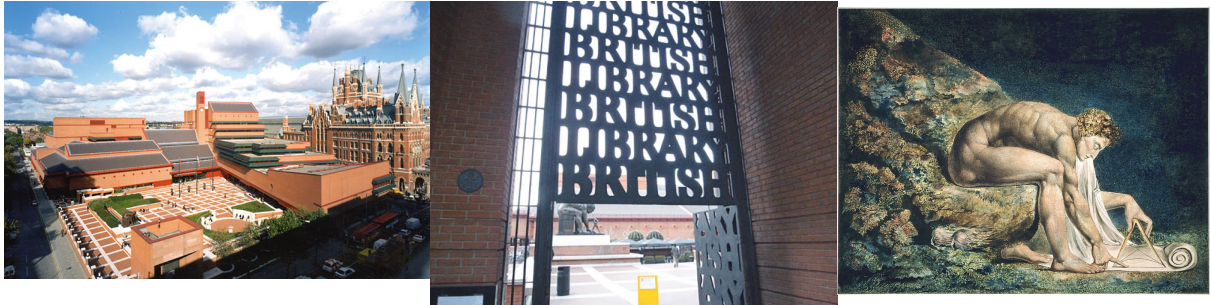
- ・ パニッツィは各蔵書について、著者名、出版社名、出版年などの情報を、形式を定めて記録。これにより、図書部門利用者の蔵書検索が可能となった。彼は自分の考案した目録作成法を『91カ条の目録規則(Ninety-One Cataloguing Rules)』にまとめた。「近代目録法の祖」

- ・ 図書館用のスペースが不足すると、博物館の中央中庭内に円形閲覧室の建築を計画、完成させる。]

16

大英図書館

- 1972年に英国図書館法が成立。
- 翌73年7月1日に大英図書館が創設される。
- 1982年、当時のチャールズ皇太子のもと竣工式が行われ、15年の工期を経て97年に完成。
- 名実ともに博物館から分離・独立したのは1998年。エリザベス女王の手により正式にオープン。



17

大英図書館

ライブラリーの構成

- ・レファレンス部門

[1759年大英博物館を開館させたときの中核的資料コットン（リンディスファーン福音書、現存する4つのマグナカルタのうち2つ）、ハーリーの二大コレクションとサー・ハンス・スローン卿（医者、古物蒐集家、ロイヤルアカデミー王立協会会長）の蔵書、ジョージ二世の旧王室文庫、さらに開館後に寄贈されたジョージ3世の蔵書などの貴重な資料が中心をなす]

- ・貸し出し部門
- ・書誌サービス部門
- ・研究開発部

ギャラリー

- ・大英図書館の至宝トレジャーズ～ジョンリトブラットギャラリー

（豊富なコレクション。その多くは1756年当時、大英博物館の基礎コレクションを成した、刊本、写本、地図、楽譜の膨大な遺産の一部、1973年に大英図書館が設立された時点で図書館に受け継がれた）

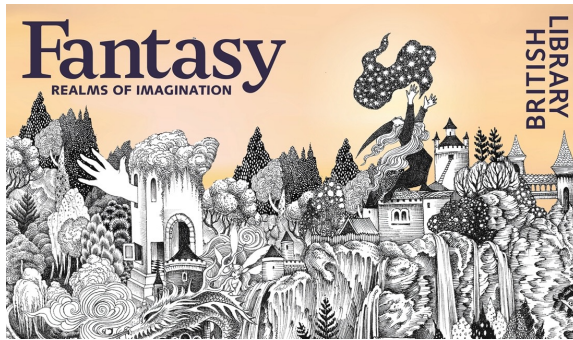
- ・展示テーマが随時変わる複数のギャラリー（コミュニケーションの諸相について学べるインタラクティブな環境も）
- ・展覧会スペースExhibition



18

大英図書館

最新のエキジビション：Fantasy



・ 壮大なビジョンから緻密に構想された細部にいたるまで、最高のファンタジー・クリエイターを称える。スタジオジブリ、ドラゴンボールなど。

・ 彼らが想像した土地、言語、クリーチャーがどのように生まれたかを明らかにする。

・ 最も情熱的で永続的なファンダムを生み出したジャンルの伝統を掘り下げる。

19

医療創生大学図書館/学習センター 学生を図書館へ～学問的関心と知的好奇心

英語学習における「多読本」の効果

--多読本 (Extensive Reading) 簡単で興味を持てる英語の大量読書を通じて語彙、文法、リーディングスキル、そして英語のリズムと音に慣れ親しむ機会を提供--

- ・ 語彙の増加: 読書を通じて新しい単語や表現を習得するのに役立つ。単語のコンテキストでの使用や繰り返しの読書によって、単語の意味や用法が自然に理解される。
- ・ 読解力の向上: 長文を読む練習を通じて、リーディングスキルの向上を目指す。文章の流れや論理構造を理解するのに役立ち、英語の文章をより効果的に理解できるようになる。
- ・ 文法の習得: ルールやパターンが実際の文章で使われる文脈で学習できるため、理論的な知識を実践に活かすことができる。
- ・ 自信の向上: 多読本を通じて、英語を読む能力を向上させ、自信を持つことができる。難解なテキストに立ち向かう経験を積むことで、自分のスキルが向上していることを実感できる。
- ・ 興味・関心: 個々の興味に合った本を選ぶことができるため、学習を楽しめる。興味を持って読むことで、学習のモチベーションが高まる。
- ・ 英語学習の初心者から上級者まで幅広く利用できる方法。自分のレベルに合った本を選び、毎日少しずつ読むことで、持続的な進歩を実感できる。多読本は教科書だけでは得られない実用的な英語スキルを養うのに有効。

20

医療創生大学図書館/学習センター

図書館で多読本を読もう



21

イギリス文化に関する洋雑誌

・ イギリス文化に関する情報

The British Magazine: 文化、歴史、旅行、ファッション、芸術などをカバー。イギリスのライフスタイルやトレンドに関する情報を提供。

BBC History Magazine: イギリスの歴史に特化。歴史的出来事、人物、文化に関する記事や特集。BBCが制作する高品質の歴史情報雑誌。

The English Garden: イギリスの庭園文化に焦点を当てた雑誌。美しい庭園の写真やデザインのアイデア、ガーデニングのヒントなど。

Tatler: イギリスの社交界、ファッション、美容、カルチャー。イギリスの上流社会やライフスタイルについて報道している。

Country Life: イギリスの田園地帯やカントリーライフの雑誌。カントリーハウス、庭園、田舎の生活、アンティークなどに関する情報。

London Review of Books: イギリスの文学、詩、評論に特化した洋雑誌。評論家や作家によるエッセイや書評を掲載しており、文学愛好者に向けて高度な知識を提供している。*The Uncommon Reader*はこの雑誌掲載が初出。

The Economist: イギリスを拠点とする国際的な経済・政治週刊誌で、世界の経済、政治、文化に関する分析と記事が中心。

Radio Times: テレビやラジオ番組ガイド。映画や音楽、舞台などエンターテインメント全般に関する情報も含まれる。イギリスではテレビやラジオが重要なメディアであり、特に地元放送局や番組に関心が高いため、非常に人気のある雑誌。

・ イギリス王室に関する情報

Hello! Magazine: 王室ファッション、イベント、王室メンバーの最新の写真、インタビューなど、王室に関連するエンターテインメント情報を提供。王室のファッションやライフスタイルに関心のある読者に向けた雑誌。

Royal Life Magazine: 王室ファミリーの生活、出来事、公式のイベントに焦点を当てた情報を提供。王室に関する最新ニュースや特集記事を掲載。

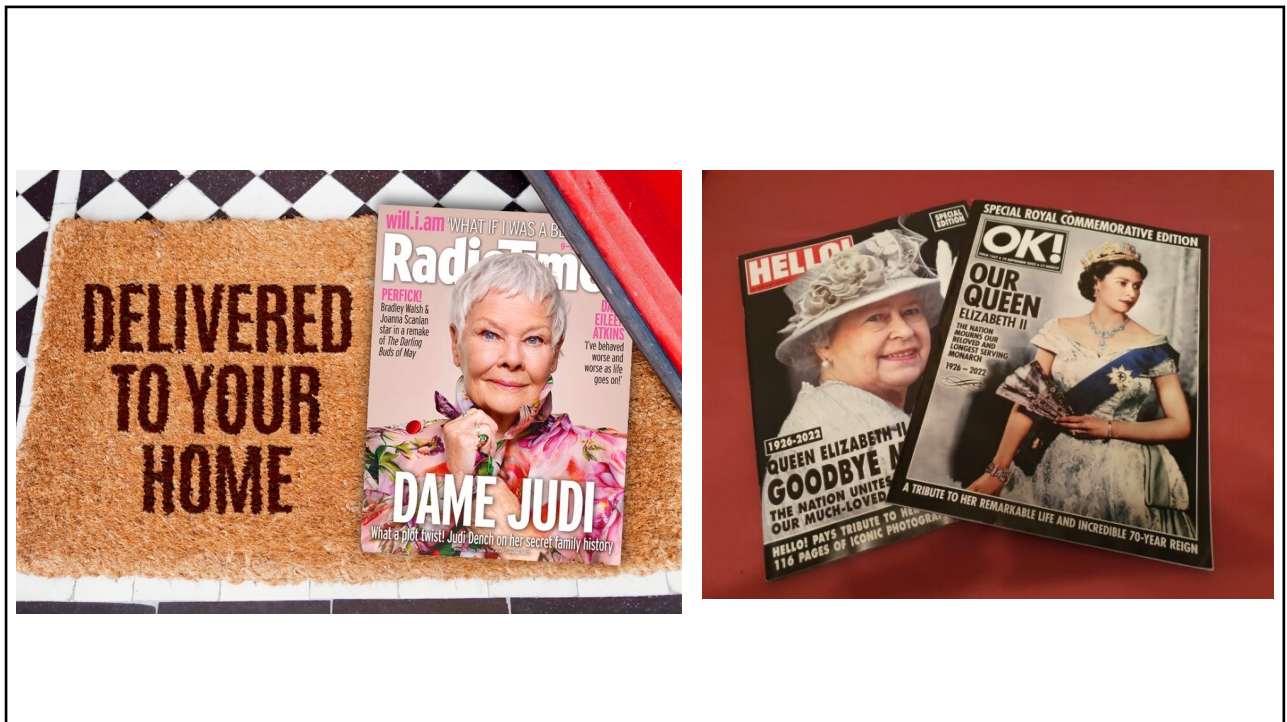
Majesty Magazine: 英国だけでなく国際王室に関する包括的な情報を提供。王室家族の歴史や活動、王室訪問に関する報道を扱う。

Royal Central: オンラインで利用できるイギリス王室を中心としたニュースサイト。

OK! Magazine: 王室、セレブリティ、エンターテインメント、ファッション、美容中心の週刊誌。セレブリティの私生活やパーティーに関する写真や記事が特徴。

Heat: セレブリティゴシップ、ファッション、テレビ番組、映画などを取り上げる週刊誌。セレブリティのファッションやライフスタイルに注目。

22



23

医療創生大学図書館/学習センター

「りぶさぽ (Library Supporter)」



24

医療創生大学図書館/学習センター

学生によるおすすめ本ポップ



25

医療創生大学図書館/学習センター

図書館併設のラーニングコモン～図書館に親しむ・図書館に足を運ぶ～



26

医療創生大学図書館/学習センター



27

参照URL

- <https://www.faber.co.uk/product/9780571246786-the-uncommon-reader/>
- <https://www.bl.uk/>
- <https://imagesonline.bl.uk/>
- <https://innerpeffraylibrary.co.uk/>
- <https://www.loc.gov/>
- <https://www.nypl.org/>
- <https://www.themorgan.org/>
- <https://www.folger.edu/>
- <https://www.bodleian.ox.ac.uk/home>
- <https://www.merton.ox.ac.uk/library-and-archives>
- <https://www.bristol.ac.uk/library/>
- <https://www.tcd.ie/library/old-library/>
- <https://www.visittrinity.ie/book-of-kells-experience/>
- <https://www.britishmuseum.org/resources/library-and-archive>
- <https://www.ok.co.uk/>
- <https://www.radiotimes.com/>

28

第30回福島県内大学図書館連絡協議会実務者研修会

感想フォーム 回答一覧

	1. 貴図書館では英米文学の原書（洋書）や、英語で書かれた多読本等を収集していますか？	2. 1で「はい」と回答された館では、洋書や多読本の利用促進のため、どのような取り組みをされていますか。（1での回答が「はい」の方のみ 自由記述）	3. 利用者の語学学習のため、図書館として行われている取り組みがあればご記載ください。（自由記述）	4. 本日の研修会の感想をお教えてください。	5. 今後、実務者研修会で取り上げてほしいテーマがありましたらお教えてください。（自由記述）
1	はい85.7% いいえ14.3%	絵本については、ミニコーナーを設置している。	図書紹介の掲示について検討している。また、語学学習のための資料として、視聴覚資料（CD、DVD等）を多く取り揃えている。	英米文学と図書館の歴史という関心ある分野のため、楽しい研修でした。	「大学図書館がSNSを有効活用するには」専門家のご意見を伺いたい。
2		洋書コーナーを設置しています。	英検やTOEICなどの資格関連図書については、利用者も多く、毎年最新版を購入している。	歴史的に図書館が多様な活動ひいては文化の発展を支えてきたことが改めて確認できました。また、医療創生大学図書館における多読支援と読書推進活動について知ることができ、参考となりました。	データベースや電子図書の利用促進のためにどんな取り組みがあるか
3		展示コーナーと専用書架を設置している。		歴史と伝統ある貴重な図書館と、英国文化の奥深さを知ることができ、有意義な研修内容でした。日本は何と言っても図書館の歴史が浅いことを再認識。	
4		通年ではないが、館内に展示コーナーを開設したり、図書館報へ掲載をして利用者の目に留まるような工夫をしている。電子書籍でも多読本やTOEIC対策図書の閲覧ができる。		今回の研修会を受講し、外国の図書館の建築物の素晴らしさや、図書館独自のコレクションがあるということや、貴重本の展示を行っていたり、日本の図書館と海外の図書館との相違点を知ることができました。本校でもコレクションに関して検討するきっかけとなりました。	
5		多読コーナーの設置		それぞれの国が持つ歴史や文化によって、図書館が持つ役割や重要性にも違いがあることが分った。普段は情報に接することが少ない英米の歴史ある図書館や、学生のみならず、観光客や一般向けにも、テーマパークのような感覚で利用されている大学図書館もあつたということを知ることができ、興味深いと感じた。また、医療創生大学で多読本や洋雑誌などを取り入れて、学生が英語に親しめるような環境づくりをされているという点がとても参考になった。	

「本宮市立しらさわ夢図書館」について

本宮市立しらさわ夢図書館長 柳沼志津子

本宮市立しらさわ夢図書館は、平成9年7月20日の開館から26年を経過いたしました。当初は合併前の旧白沢村で初の公共図書館ということで、名称も当時の小中学生から公募して「しらさわ夢図書館」と決めました。振り返ってみれば、開館から地元の子どもたちのために開館された図書館といえます。開館時間も当時の県内の公共図書館では最も遅い20:00で、平日は夕飯を終えた家族がみんなで図書館にやってくる、本を借りるという姿も見受けられました。



平成19年に本宮町・白沢村が合併して本宮市となった後には、本宮市の公共図書館として市民の読書活動の拠点となっています。合併後すぐに取り掛かった仕事は、市内の公民館図書室や学校図書館すべてを図書システムでつなぐ「図書館・学校図書館ネットワーク事業」でした。そのおかげで、現在は学校司書とも連携を図りながら、公共図書館と学校図書館の蔵書の共有が図られ、学校での教育活動に公共図書館の図書がスムーズに提供される体制ができています。

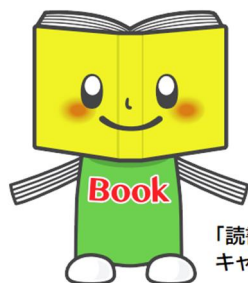
また、令和3年度からは公民館図書室がしらさわ夢図書館の分館となり、図書館・図書室・移動図書館車が一体となって、市内の読書活動の推進できる体制が整いました。

しらさわ夢図書館は当初から子どもたちへの読書活動を大切にし、その支援を行ってきました。ブックスタートも市の乳幼児健診（3・4か月、10か月、1歳6か月、3歳）すべてにかかわり、わらべうたや読み聞かせ、本のプレゼント、家庭での絵本の読み聞かせの啓蒙活動などきめ細かく行っています。また、図書館から市内の保育所・幼稚園・小中学校へは団体貸出「ドリーム文庫」の運行、出張おはなし会・アニメーション・ブックトークなどのアウトリー



子活動も積極的に行っています。また、そうした活動に協力してくれる読書活動ボランティアの研修も図書館主催で毎年養成講座を開催し、人材発掘や人材育成を図っています。

また、子どもたちだけでなく、一般向けには「大人ための国語教室」「大人のための読書会」など、読書へより関心を持ち、仲間を作り場のとしても図書館が機能しています。



「読書の街もとみや」
キャラクター モトムくん

本宮市立図書館

さらに、図書館の独自のキャラクター「モトムくん」、キャッチフレーズ「本宮はみんなが愛する本の街」を設定することで、市民がより図書館を身近なものに感じてくれるようになりました。

しらさわ夢図書館は昨年度に大規模な改修を行い、「長時間滞在型図書館」として、屋外テラスや屋内サロンの設置などを行い、より市民のみなさんに館内でゆっくりと過ごしていただける環境を整えました。図書館はだれもが利用できる場、もし本を読まなくても、そこに行きさえすれば元気が出て本来の自分を取り戻せる場、そうした場としてしらさわ夢図書館が市民のみなさんに認知されることを願って改修をしました。再オープンして、半年以上が過ぎましたが、多くの方が来館してくれ、新しいテラスやサロンでくつろく姿がみられるようになりました。

当館は、館内は全館ジュータン敷で靴を脱いで入館する作りになっており、冬には床暖房が入ります。ですから、子どもたちが寝転んで本を読んだり、お母さんが赤ちゃんをすわらせて絵本を読む姿も日常的にみられます。様々なスタイルで本を楽しんでいらっしゃる姿を見ていると、長年図書館に携わった者であっても「本はいいなあ、図書館はいいなあ」と感じます。これからも、この生まれ変わった図書館で多くの方が本と人との良い出会いができるように、私たちスタッフ一同、心を一つにして頑張っていかなければと考えています。



福島県内大学図書館連絡協議会会則

制定 昭和60年2月28日
改正 平成 2年7月 6日
改正 平成 5年7月 9日
改正 平成 7年7月25日
改正 平成12年7月14日
改正 平成15年7月11日
改正 平成16年8月 6日
改正 平成17年8月 5日
改正 平成18年8月24日
改正 平成27年9月17日
改正 平成29年7月20日
改正 令和元年7月25日

- 第1条 本会は、福島県内大学図書館連絡協議会（以下「協議会」という）と称する。
- 第2条 協議会は、次の大学図書館及び福島県立図書館並びに福島工業高等専門学校図書館をもって組織する。
- 1 会津大学情報センター
 - 2 会津大学短期大学部附属図書館
 - 3 医療創生大学図書館
 - 4 奥羽大学図書館
 - 5 郡山女子大学図書館
 - 6 桜の聖母短期大学図書館情報センター
 - 7 昌平図書館（東日本国際大学・いわき短期大学）
 - 8 日本大学図書館工学部分館
 - 9 福島県立医科大学附属学術情報センター
 - 10 福島学院大学図書館情報センター
 - 11 国立大学法人福島大学附属図書館
- 第3条 協議会は、加盟館相互の緊密な連携と協力により、図書館の施設、管理、運営などについての進歩、改善を図ることによって、地域社会の進展に寄与することを目的とする。
- 第4条 協議会は、前条の目的を達成するため、随時図書館に関する講習会の開催、その他必要と認める事業を行なうものとする。
- 第5条 協議会の総会は年1回開催する。但し、必要に応じて臨時に開催することができる。
- 2 開催地については、原則として福島地区、郡山地区、いわき地区、会津地区とし、1か年交代とする。
- 第6条 会務を処理するために、幹事館をおく。
- 2 当分の間、福島大学附属図書館を常任幹事館とする。
 - 3 第5条第2項における開催地区の加盟館の中から、協議によって、年度幹事館を選出し、年度幹事館は当該年度総会その他の事業運営を処理する。
- 第7条 本会の会計監査を行うために、会計監事をおく。
- 2 会計監事は、総会において常任幹事館及び年度幹事館を除く加盟館から1館選出する。任期は1年とし、再任を妨げない。
 - 3 会計監事は、総会において監査結果を報告する。
- 第8条 協議会の事務局は、常任幹事館内におく。
- 第9条 協議会の運営に要する経費は、会費その他の収入をもってあてる。
会費は年額5,000円とし、会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

- 附 則 この会則は、平成2年7月6日から施行する。
- 附 則 この会則は、平成5年7月9日から施行する。
- 附 則 この会則は、平成7年7月25日から施行する。

- 附 則 この会則は、平成12年7月14日から施行する。
- 附 則 この会則は、平成15年7月11日から施行する。
- 附 則 この会則は、平成16年8月6日から施行する。
- 附 則 この会則は、平成17年8月5日から施行する。
- 附 則 この会則は、平成18年8月24日から施行する。
- 附 則 この会則は、平成27年9月17日から施行する。
- 附 則 この会則は、平成29年7月20日から施行する。
- 附 則 この会則は、令和元年7月25日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

(会則第7条についての申し合わせ)

常任幹事館においては、会計処理、記録保存などの総合的会務を処理する事務局機能を担当し、年度幹事館は、常任幹事館との密接な連携の下に、当該年度総会その他の事業実施事務を担当する。

福島県内大学図書館連絡協議会誌 第25号

令和6年（2024年）3月

編集 : 福島大学附属図書館

編集協力 : 医療創生大学図書館

発行 : 福島県内大学図書館連絡協議会

〒960-1293 福島市金谷川1番地

福島大学附属図書館内

TEL : 024-548-8082 / FAX : 024-548-2377
